

2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール



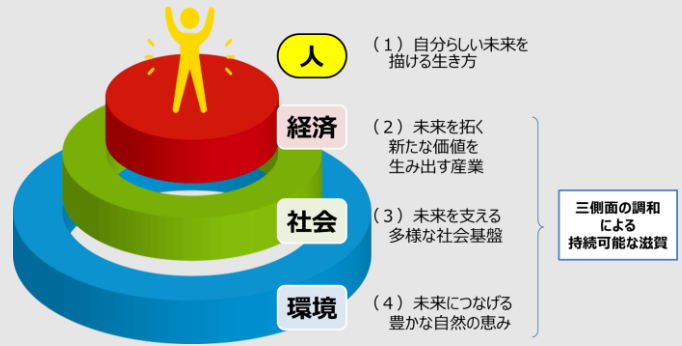
自治体の概要

- 琵琶湖を健全な姿で次世代に引き継ぐため、「石けん運動」など官民挙げて環境保全に取り組んできた地域
- 中世以降、全国で活躍した近江商人の「三方よし(売り手よし、買い手よし、世間よし)」の精神や、戦後日本の「障害福祉の父」と呼ばれる糸賀一雄氏の「この子らを世の光に」という思想を受け継ぎ、実践してきた土地



今後のビジョン・計画

●みんなで目指す2030年の姿を描いた将来ビジョン「滋賀県基本構想」は、「変わる滋賀 続く幸せ」を基本理念に、長寿社会の到来、飛躍的な技術革新、世界的な脱炭素化社会の進展等の変化に直面する中、私たちがしなやかに変わり続け、行動することにより、自分らしい未来を描ける生き方と、その土台となる経済、社会、環境のバランスの取れた持続可能な滋賀の実現を目指している。



SDGsに関する特徴的な取組

滋賀県基本構想にSDGsの特徴を生かし県の政策へ反映

- 2018年10月、**滋賀SDGs×イノベーションハブ**を設置
社会的課題の解決に向けたイノベーション創出のため、産官金で共同設置
- 2018年11月、**滋賀×SDGs交流会**を開始
様々な分野のSDGs実践者のパートナーシップ拡大を目的に実施
- 2019年7月、**SDGs未来都市に選定**
世界から選ばれる「三方よし・未来よし」の滋賀の実現を提案
- 2020年4月、**滋賀県庁SDGsアクション**を策定
部門別計画や施策へのSDGsの考え方を反映

森・川・里・湖のつながりの中で環境と経済・社会活動をつなぐ健全な循環

「生態系・自然界における循環」のもとで生み出される「自然の恵み」を「経済・社会活動」において適切に活用する中で、「環境と経済・社会活動をつなぐ健全な循環」を構築



しが水環境ビジネス推進フォーラム (Team Water Shiga)

水環境関連の産業・研究機関の集積や水環境保全の取組を活かした水環境ビジネスの展開を図るとともに、国内外の水環境問題の課題解決に貢献

